



聖アンデレ教会 教会報

さかえ

第 383 号

日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
TEL 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698
www.st-andrew-tokyo.com

発行人：牧師 司祭ステパノ卓志雄
編集人：ヨハネ柳生義人
セバスティアーノ林圭佑

「Happy Birthday to us!」

牧師 司祭 ステパノ 卓志雄

今年六月二日は聖アンデレ教会の主教巡回日でした。高橋主教の司式による一〇時三〇分の聖餐式の中で教会創立一四五周年記念日を覚えて祈りをささげました。またわたし卓の牧師任命式および二名の堅信式が行われました。そして礼拝直後、集合写真撮影！その後、高橋主教と共に、堅信を受けられた方々を囲んで愛餐会が開かれ、前庭及び西側崖地プロジェクトチームによる聖アンデレ教会ワークショップ「聖アンデレ教会将来計画 西側崖地プロジェクトのこれからを考える」が行われました。これからの教会の歩みを共に分かち合う大事な企画でした。恵み豊かな一日でしたが一八七九年六月四日神によってこの地に建てられた聖アンデレ教会の創立記念日について思い巡らせました。

「Happyバースデートゥーユー」で始まる「お誕生日の歌」を知らない人はいないと思います。世界各国語に翻訳されていますが、英語が公用語でない国でも英語で歌われているこの歌は、アメリカ人のヒル姉妹が作った「Good Morning to All」のメロディを原曲としていたこと。世界で一番歌われている歌としてギネス・ワールド・レコーズに載っているそうです。確かに一年三六五日世界各地で誰かが生まれたはずなので、誕生日を迎える人を祝うためにも世界のどこかでこの歌は歌われているでしょう。この歌を歌うか歌わないかは別に、そもそも誕生日の度になぜ「祝う」のか。なぜ？皆さんはどう思いますか。創世記一章三二節に「神は、造ったすべてのものを御覧になつた。それは極めて良かった。」と記されています。神はこの世の全てのものを造られた時、「あれ（在）れ！」と存在するように命じられ、神によって誕生したものに對して「よし」とされました。わたしたち人間も例外ではありません。神によって造られ極めて「よし」とされた存在なので、誕生日を迎える仲間にあつた私たちは「誕生日おめでとう」と祝うのです。



今年聖アンデレ教会は一四五才の誕生日を迎えました。この地に福音を宣べ伝えるために神によってよしとされ一四五年前に建てられ、それ以来聖アンデレ教会は福音の器としてこの地に遣わされてきました。教会創立一四五五年を迎えた今、わたしたちはわたしたちの誕生日をどのように迎えるべきなのでしょう。か。「喜ぶ」。もちろん嬉しいので「よし！」神によしとされこの世に生まれた（この地に建てられた）ので。「騒ぐ」。めでたいことなので「よし！」喜ばしいこと、めでたいことを分かち合えばそれは何倍にもなるので。しかしわたしたちがそれらより大事にしなければいけないことがあります。まず一四五五年間、この教会を導いてくださった神のみ恵みと信仰の先達の働きに對して感謝をささげること。また聖アンデレ教会の働きによって大勢の人々が主に出会い励まされ、勇気づけられ、力づけられ、生かされていることに感謝をささげること。そして主によって生まれ変わっていくわたしたち一人ひとりが、信仰の仲間たちと感謝と賛美の礼拝、主にあつての交わりを分かち合うことです。そして神によって与えられた先達の素晴らしい信仰を次の世代に受け継ぐことです。

創立一四五周年を迎えて

聖アンデレ教会と私

バルナバ片岡大造

聖アンデレ教会へ転籍して約四十年になり、多くの方々に教えを受けました。岐阜の聖パウロ教会のカナダ宣教師館で生まれ、幼児洗礼を受け、大学時代はキリスト教を学ぶ名古屋学生センターで塚田理先生を始め多くの先生から貴重な学びをしました。東京に家族と転居、アンデレの早朝礼拝で元中部教区黒瀬主教にお会いした時にアンデレ教会へ来なさいと言われ今日に至ります。アンデレ教会を設立されたショー先生の軽井沢記念礼拝堂で夏に催されるショー祭に毎年参列しました。教会委員に選ばれ、将来計画に向けて教会の使命と課題をファミリーデー等で話し合いました。新しく来られた方、また不参信徒への働きかけを話しあい、アンデレ教会のミッシェン・ビジョンの明確化、青少年育成・社会福祉施設や大学との交流、独居高齢者のケアとして施設の検討も始めました。二〇〇九年には教区会で「芝公園開発委員会」を作りアンデレ教会・教区建築宣教委・オルバン教会と、西側崖地対応を含め三開発事業者に老人ホームや幼児施設等が入った計画案を出してもらいました。東日本大震災では支援対策本部員をしました。香蘭女学校常務理事としてキリスト教教育の徹底に努めました。現在は、微力ですが聖歌隊員として奉仕しています。司祭の教え、そして信徒の関谷友彦さん、北村一男さん等、多くの方々との交わりは大きな財産です。ショー師の

志を想い、母が常に言っていた「ただ御心のままに」聖アンデレ教会の一信徒として歩み続けたいと思っています。

「再会」

エリザベツ落合信子

古い聖書が一冊ある。結婚した時式をしてくださった、父の親友秋山司祭様から私共夫婦へのプレゼントで（一九七九年七月二六日の日付があるで）もう四五年前になる。私があるに読み込んでいたわけではないのに皮表紙はもうボロボロで、これは物書きだった主人と聖書を勉強していた亡姉が使っていた様だ。昨年姉の逝去に伴い家族の残した諸々を整理したが、私のこの聖書は何故か処分せずにいた。

そして先日、何十年ぶりかです。神学院へオルターのお手伝いに伺うことになった。神学院のこの素晴らしい環境で、現在たった一人の学生しかいないとは、教会に魅了がない場になってしまったのか？信者にも責任があるのだろうか？心が痛んだ。牧師を志す事は、聖書の長い深い歴史、難解な奇妙と思えるキリスト教、宗教を勉強する事は、生易しい事ではないだろう。お昼を頂く為、広く緑に囲まれた庭を三方ガラス張り、それだけでも素晴らしく、食堂での細やかなランチは、心休まる場であった。ふと、隣に座った神学生に声をかけられ、聞いてみると「僕のおばあさんとお知り合いの様で」と言われ、聞くと何と秋山司祭のお孫さんであった。我家と秋山家は戦中戦後の大変な時代を親戚以上に助けあった仲であった。

私の頭の中では、一辺に秋山司祭

のあの優しい笑顔やあの時代が戻ってきた。あれからもう半世紀近くが過ぎ、私の人生の最終期に秋山司祭にもう一度あの聖書を読めと促された気がし、改めてこのボロボロになった聖書を読み眺めながら、これは、現在たった一人の川島君に置いて行きたいと思っている。

洗礼・堅信

「堅信式を受けて」

アシジのフランシス築田樹

主の平和

六月二日に高橋主教の下で堅信式を受けさせていただきました。本当は、もっと早くに受けたかったのですが、新型コロナウイルスの影響で教会に行けなくなって、遅くなってしまいました。

生まれた時から曾祖母の運転する車の脇に乗って毎週日曜日教会に来ていました。八歳のクリスマス夜の、ミサに笹森田鶴先生（現北海道教区主教様）に声をかけて頂き、アコライトをさせて頂いて頂くようになりました。初めは何もわからず、ただ大人の方達の側にお香持ちや献金箱を運ぶことをしていました。最近やっとロウソク消しやクロスを持つことができるようになって、うれしいです。部活や諸事情によって、以前の様に、毎週は礼拝に参加できませんが、できる限り教会に行くつもりです。まだまだ未熟ですが、神様のこどもとして、これから教会のことを勉強して皆さんにも助けていただいで、教会のお役に立てる人になりたいです。

主に感謝

諸活動報告

前庭ならびに西側崖地プロジェクト
信徒ワークショップ開催報告

二〇二四年六月二日、聖アンデレ教会創立記念日の愛餐会後、アンデレホールにて「西側がけ地プロジェクトのこれからを考える」と題して、信徒ワークショップを開催しました。聖アンデレ教会は今年度、卓志雄先生をお迎えしました。卓先生は常置委員として、これまで二回ほどプロジェクトの説明をお聞きになっていますが、聖アンデレ教会の信徒の皆さまの今の気持ちやプロジェクトの経緯や背景などはご存じではなく、これから理解していきたい、とおっしゃってくださいました。そこで、今回はあらためて原点に立ち返るよ



うなテーマを立て、皆様のご意見を伺うようなワークショップを開催することにしました。

当日は創立記念日だったこともあり、七〇名以上の方がご参加くださり、多くの方と一緒に、意見交換の時間を持つことができました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

ワークショップのお題は「西側がけ地プロジェクトの目的を再考する」「どんな聖アンデレ教会でありたいか？」でした。六つのグループに分かれ、PJチームメンバーと教会委員が各テーブルに入り、皆さんの意見をポストイットに書いて記録しました。それらのご意見は一枚の表にまとめ、カテゴリごとに色分けしたものを作成しました。拡大コピーをアンデレホールに掲示しておきますので、気づいた方はぜひ読んでみて、ご意見をお寄せください。

この教会において、崖地のプロジェクトを進めていくことは大きな決断が必要です。多くの信徒の方が納得し、同じ方向を目指している、という状況をつくるまで、説明会やワークショップを開催していかねればと思います。そして、できれば、二月の堅信受領者総会において、何らかの方向性についての決議を取りたいと、卓先生がおっしゃっています。

そのために、月一回を目標に、「アンデレアワー」と称して、西側がけ地の問題、教会の問題など、さまざまな意見交換の機会として、説明会を開催していく予定です。教区やオルバン教会とも連携も取りながら、卓先生を中心に、皆さまとプロジェクトの方向を見極められるよう、

ご一緒に考えていきましょう。第一回アンデレアワーは、九月一日、愛餐会後にアンデレホールで開催を予定しています。皆様のご参加・ご協力のほど、お待ちしております。なにとぞよろしくお願い申し上げます。前庭ならびに西側崖地プロジェクトチーム
ポウリー 田口知子



聖オルバンの日に共に祈りを捧げて

マーガレット後藤真由美

二〇二四年六月二三日、聖アンデレ教会はお隣の聖オルバン教会で合同礼拝に参列しました。歴史ある木造造りの礼拝堂で、迫力のあるパイプオルガンの響きと、合同聖歌隊の美しい讃美歌の歌声に酔いしれながら、礼拝に参列されている様々な国の方々と接し時代や世界情勢によって変化する人種の移り変わりを感じていました。礼拝後は聖オルバン教会が昼食を用意してくださり、



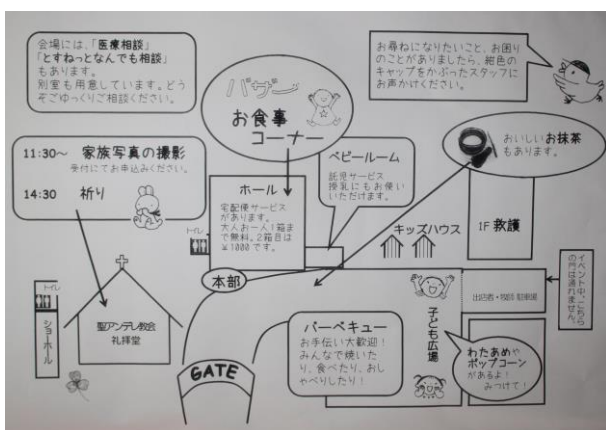
焼きたてのハンバーガーやサラダ、手作りのデザートなどをアンデレホールで食卓を囲みました。礼拝には一九〇名、愛餐会には一七〇名にも及ぶ大勢の方が参加してくださいました。

聖オルバン教会は難民の支援活動をされています。毎週日曜日に日本に住む難民の方々に食事の支援もしています。今日、こうして食事を共にした方が悲しい境遇で、辛い思いをされて日本で暮らしていると思うと、胸が痛くなりました。日本人として、聖公会の一員として何か出来ることはないかという気づきを与えられました。合同礼拝は年に二回、お互いの教会に招待し合い、異文化の交流をし祈りを分かち合える機会です。どうぞアンデレ教会の信徒の方も参列してください。これからも聖オルバン教会と共に、信仰の絆を深めていきたいと思えます。

聖アンデレ教会の足跡第八回

二〇一十一年 歴史資料整理係
東日本大震災の支援を始める

二〇一十一年二月十一日大畑司祭が主教に按手されました。その翌月三月十一日に発生した地震の支援をする為に聖アンデレ教会が拠点となつて各教会から届けられた物資の仕分け発送をして小名浜聖トモテ教会で支援を始めました。一か月後の四月には海岸線から僅か五十mの高台に建つ磯山聖ヨハネ教会がある新地町へアジア学院の鶏卵六百五十個、豚肉五十キロを届けました。十一月三日には東京に避難されている人々が精神的にリフレッシュされるように願い、教区の開催するチャリティデーを聖アンデレ教会を会場にして料理を差し上げ、七五三の着付け写真撮影など心温かな交わりができました。その年赴任された笹森司祭と共に現地を訪ねる旅が始まりました。



チャリティデー会場案内図

ご挨拶

聖アンデレ教会一四五周年に寄せて

執事 クララ佐久間恵子
 聖アンデレ教会一四五周年の年に、主教座聖堂付き教役者として四月より「主日勤務」を仰せつかったている執事の佐久間恵子と申します。ほとんどの聖アンデレ教会の皆さまには「初めまして」ですが、顔くらしいは知っていて下さった方もいらっしゃると思います。

大学を出てから一〇年、社会福祉の現場で仕事をして参りましたが、その間も「教会で神様と人に仕えた」という思いがあり、職場では外来のホームレスの患者さんの怪我し汚れた足に、荒野を歩き回って宣教を続けられたイエス様のお姿を重ねたりしておりました。そして神様のお導きのうちに、神学院への道が開かれ、二〇〇二年に執事に按手していただきました。以来、練馬聖ガブリエル教会、聖マーガレット教会、東京聖マリア教会、浅草聖ヨハネ教会を経て、昨年末から少し身体を壊しておりましたので、主教様のご高配により四月から主教座聖堂での主日勤務をさせていただいております。

一四五周年という歴史の重みを担いながら、さらに前進していこうとされている聖アンデレ教会と卓司祭として何よりも神様のみこころに仕えさせていただきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



聖アンデレ教会に転入にあたり

初めまして卓家です！

アナスタシア卓寿眞(すじん)です。私の趣味は絵を描くことと漫画を集めることで、最近けん玉も練習しています。友だちがいるのでインマヌエル新生教会に残りましたが、聖アンデレ教会でも友だちができたらうれしいと思っています。どうぞよろしく願います。

エリサベト倉又奈保子(くらまたなほこ)と申します。皆さんと教会生活をともにできることを心からうれしく思います。少々おつちよこちよいではありますが、とてもまじめで温厚な性格です。温泉、コーヒー、ビール、図書館が好きです。各種後始末がわりと得意です。好きな聖句は：多過ぎるので次回までに厳選しておきます！これからどうぞよろしく願います。

最後に、長男の洗礼者聖ヨハネ卓由眞(ゆうじん)です。前段ではそれぞれの自己紹介のみだったので、家族の紹介をさせていただきます。卓家はよく食べます。日ごとの糧を下さる神様に毎日感謝しております。そして、なるべく皆で食卓を囲むようにしています。家族みなが寂しがりだからです。「食卓での家族の交わり」という神様の恵みが卓家を豊かにしてくださっています。これからは卓家をよろしく願いたします。僕は肉が大好きです。

コイノニア

霊魂の平安と、ご遺族への主の慰めを祈ります。



聖アンデレ教会 ホームページ



聖アンデレ教会 フェイスブック

インターネットやYouTubeなど
 ご不明な点がございましたらご遠慮なく
 教会までお問合せください

◇毎主日週報が発行されています。

教会ホームページでご覧いただけます。
 FAX・郵送をご希望の方は事務所までご連絡ください。

◇牧会訪問、自宅や病床での陪餐、ご家族・少人数での礼拝や記念式への参加を希望される方は教会までご連絡ください。

◇教会への月約献金・感謝献金は郵便振替をご利用ください。

ゆうちょ銀行 00160-1-91168
 日本聖公会 聖アンデレ教会

◇主日礼拝・平日の公禱をライブ配信しています。
 教会HPからご覧になれます。

「今、福音に聴く—

マタイによる福音書の通読とメッセージ—」

2021年6月にスタートした「今、福音に聴く」は福音書を通して読み進めながら、各箇所メッセージを分かち合っていたいただき、「今」を生きる私たちの信仰の養い、道しるべとなればという思いで始まった企画です。

聖書朗読を聞き、あるいは読みながら、福音書が投げかけるメッセージを黙想し、日々の祈りのきっかけにしていただければ幸いです。

